

# 01 What's Resonac?

レゾナックは何者なのか?レゾナック誕生の軌跡や、  
どのように価値を創造しているのか、  
そして私たちが目指す「共創型化学会社」とはどんなものなのか、  
レゾナックの過去と今をお伝えしています。

7 —— レゾナックが生まれるまで

9 —— 事業概要

11 —— 価値創造プロセス

13 —— 特集 共創型化学会社とは

17 —— 財務・非財務ハイライト

## 旧昭和電工

電気化学をルーツに持つ昭和電工の技術は、  
無機化学・有機化学・金属材料へと発展を遂げ、  
現在は情報通信モビリティ分野で用いられる素材・部材や  
生活に必要なさまざまな製品に受け継がれています。

1908年

沃度の製造販売の総房水産(株)  
(日本沃度(株)の母体)を設立



総房水産(株)

1931年

国産法による  
硫酸を製造  
(昭和肥料(株))

1939年

日本電気工業(株)、  
昭和肥料(株)の合併、  
昭和電工(株)設立

1934年

国産アルミニウムを工業化  
(日本電気工業(株)(元日本沃度(株)))



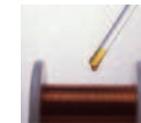
アルミニウム一号塊

## 旧日立化成(昭和電工マテリアルズ)

創業以来培ってきた、素材特性を活かした材料設計技術による  
製品開発力を強みとして、半導体材料など  
情報通信やモビリティ分野を中心に、  
新たな機能・価値の創造につなげています。

1912年

電気製品には欠かせない  
モーター用絶縁ワニスの  
初の国産化に向け研究開始



電気絶縁ワニス

1930年

フェノール樹脂積層板の  
試作開始

1933年

カーボンブラシの試作開始

1931年

絶縁ガイシの試作開始

## 1930's

社会のニーズ

食料生産の安定

提供した価値

国産技術によるアンモニアの生産

当時不可能と言われていた国産技術・機械による日本  
初のアンモニア合成に成功し、純国産技術の初の合成  
硫酸(無機肥料)の製造を開始、低廉な肥料を供給。



## 1950's

社会のニーズ

技術革新

提供した価値

プリント配線板用銅張積層板「MCL」

複雑な配線を1枚の銅張積層板に集約成功。電子回路  
を大量生産することを可能とし、テレビやラジオの普及  
に貢献。



社会のニーズと  
私たちが社会に  
提供した価値

**1969年**  
大分石油化学コンビナート  
営業運転開始



大分コンビナート  
事務棟

**1988年**  
ハードディスク事業へ進出

**2001年**  
昭和アルミニウム(株)を合併。  
アルミニウム製冷却器、シリンダー、  
パッケージなどの製品がラインアップ



アルミニウムシリンダー

**2003年**  
プラスチックケミカル  
リサイクル事業開始



KPR(川崎プラスチック  
リサイクル)プラント

**2006年**  
パワーデバイス用  
SiCエピウェハー(受託)製造開始

**2009年**  
パワー半導体用冷却器の  
生産開始



パワー半導体用冷却器

**2010年**  
合成樹脂エマルジョン、  
不飽和ポリエステルなどを  
いち早く国産化した  
昭和高分子(株)を合併

**2017年**  
ドイツSGL GE社の  
黒鉛電極事業を買収



黒鉛電極

**2022年  
実質統合**

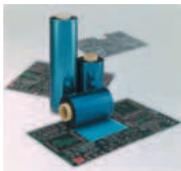
**2023年  
レゾナック誕生**

**RESONAC**

半導体・電子材料、モビリティ、イノベーション材料、  
ケミカルなどを展開し、川中から川下まで幅広い素材・  
先端材料テクノロジーを持つ化学会社として、  
第二の創業を迎えました。  
レゾナックは「共創型化学会社」として、  
共創を通じて持続的な成長と  
企業価値の向上を目指します。

**1955年**  
プリント配線板用  
銅張積層板[MCL]の  
製造開始

**1978年**  
アルカリ現像感光性  
フィルム「フォテック」の  
販売開始



フォテック

**1984年**  
ディスプレイ用回路接続  
フィルム「ANISOLM」の  
製造開始



ANISOLM

**1992年**  
耐リフロー性エポキシ樹脂  
封止材の販売開始



エポキシ樹脂封止材

**1998年**  
リチウムイオン電池用負極材の量産開始  
STI用CMPスラリーの製造開始



CMPスラリー

**2001年**  
樹脂製バックドア  
モジュールの製造開始

社会のニーズ  
ごみ問題  
リサイクル



提供した価値  
アルミ缶リサイクル活動

日本で最初にアルミ缶を製造した当社は、循環型社会の形成を目指し、いち早くリサイクル活動を開始し、活動をけん引した。2021年の日本全国でのアルミ缶リサイクル率は96.6%まで向上。

社会のニーズ  
技術革新  
(長寿命化)



提供した価値  
負極材

リチウムイオン電池の性能を左右する、負極に使われる黒鉛材料を生産。電子機器の省エネ・小型化、充電効率の向上に貢献。

**2000's**

社会のニーズ  
軽量化



提供した価値  
樹脂製バックドア

日本で初めてバックドアモジュールの樹脂化に成功。金属製が当たり前だった自動車のボディのデザインの自由度を高め、軽量化に貢献。

社会のニーズ  
技術革新



提供した価値  
ハードディスク(HD)

世界で初めて大記憶容量の垂直磁気記録方式ハードディスクメディアの量産化に成功。データセンターなどで大量のデータを安全安心に保存。

社会のニーズ  
省エネルギー



提供した価値  
SiC

省エネルギー化が期待される次世代のパワー半導体に使用される材料。データセンターのサーバー電源や鉄道車両向けデバイスなどで採用中。